

## 介護のお仕事イメージアップ大作戦！

## わかばの会の取り組みについて

人材確保

イメージアップ

若者の参加

キーワードについては  
必ず3つ記入の事！！

特別養護老人ホームやまとの里

発表者  
(研究者)

生活相談員 今成 光 (木下浩志)

## 施設の概要

※ここに記載した内容のうち、発表内容に直接重要な関係を持たない事項については、本資料をもって発表の際の説明から省略してください。

設置主体	社会福祉法人 千歳福祉会	経営主体	社会福祉法人 千歳福祉会
開設年月日	平成16年5月1日	所在市町村	千歳市
市町村人口	94,820 人	65歳以上人口 (高齢化率)	19,509人 (高齢化率 20.6 %)
利用者定員数	60 人	利用者平均年齢	86.5 歳
職員数	43 人	職員数内訳	介護職 27 名 看護職 5 名
併設施設・事業	通所介護、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター		
施設のサービスの概要	全室個室ユニットケアのサービス提供形態で、運営しています。 (特別養護老人ホーム50床、短期入所生活介護10床)		

## 発表の概要

## ①取り組んだ課題

10代から20代の若い世代の介護職員を採用することが困難な状況が続いています。介護の仕事を目指す学生の減少や、仕事に就いても離職する若手従事者が多いことは、将来の介護業界を考えると非常に大きな問題です。厚生労働省の調査で離職の原因は、「仕事や人間関係の悩みを相談出来る相手がいない」「将来についての不安」が多く挙げられます。現場で働く介護職員の不安の解消、介護の仕事を目指す学生等への介護の仕事のイメージアップが課題となりました。

## ②具体的な取り組み

昨年8月より当施設が中心となり、市内の介護保険事業所や医療機関の若手従事者（30歳未満）を集め、わかばの会を発足し活動を始めました。まず始めに市内で地域包括ケアシステムの促進のために活動している団体をお願いし、介護保険事業所や医療機関にわかばの会の目的について説明させていただく機会を設けていただきました。また、地域の事業所の若手従事者を集め、顔合わせ目的に、ケア・カフェを開催することを周知させていただくとともに、介護保険事業所や医療機関、行政機関には、FAXやE-mail、手配りで案内を配布しました。また、同地域の介護保険事業所や医療機関のスタッフに講師を依頼し、仕事をする上での心構えや、将来のビジョンを身につけるために、研修会を企画し、実施しています。研修会の開催を四半期に1回、ケア・カフェ～わかば～を半年に1回開催し共に学んでいける関係性づくりを深めています。また、活動内容を周知することと、地域住民の方々への広報活動を目的として、広報誌「WaKaBa」を半年に1回発行しています。実際に現場で働く若手職員にインタビューをする等して、仕事のやりがいや職場環境等を記事として掲載しています。

## ③活動の成果と評価

わかばの会の活動を通して、若手従事者はこのような活動、を求めていることがわかりました。そしてケア・カフェを通じて様々な思いや意見を抽出し、勉強会開催など反映していくことができたことは大きな第一歩だと思います。若者にはパワーがあり介護業界での若手従事者が今後さらに団結し地域を支えていけるような手助けを感じていることから、このわかばの会の活動を継続していくことが大切だと感じています。

## ④今後の課題

介護現場のお仕事に志のある学生の皆さんや介護の仕事に興味のある方に対しての活動の周知の面で、学校に訪問し周知させていただくことや広報誌「WaKaBa」を幅広い方々に読んでいただけるよう配布方法の検討を行い介護現場のイメージアップ、人材確保の面でもさらに積極的に活動していく必要があることが課題です。

## ⑤参考資料など